

KOFU NEXT ACTION

2024

～希望ある未来へ～



甲府市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

甲府市

1.KOFU NEXT ACTION について

昨今の地方自治体においては、著しい人口減少や少子高齢化などを背景に中長期的な課題を数多く抱えており、近い将来迎える 2030 年の SDGs 達成や、2040 年頃の深刻な労働力不足への対応、そして、地球温暖化に配慮した 2050 年のカーボンニュートラルの実現等への対応が求められています。

こうした諸課題は、本市の未来を担っていく今の子どもたちが直面する喫緊の課題であり、子どもたちをはじめ、甲府を愛するすべての市民の皆様の明るい未来のためには、今まさに、『次なる行動』が必要です。

本市では、開府 500 年で育んだ「こうふ愛」を礎に、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト NEXT」をはじめとする、これまで取り組んできた各種施策を継承しながら更に深化・発展させ、市長が政策提言に掲げた 5 つの柱を具現化した新たな行政計画である『KOFU NEXT ACTION』をここに策定し、本計画に位置付けた取組を重点的かつ計画的に推進することで、本市が目指す都市像の実現による市民の皆様の「希望ある未来」創りに邁進してまいります。

2.計画期間

2023 年度から 2026 年度までの4年間とし、各施策・事業については、実施状況や社会情勢の変化等に応じて毎年度見直しを行ってまいります。

3.本計画の構成

『KOFU NEXT ACTION』は『施策編』と『取組編』の 2 部構成となっており、『施策編』では、計画期間となる 4 年間で捉えた「施策」の概要をお示しし、『取組編』は、各施策を構成する「取組」ごとの当年度の具体的取組を掲げたものとしています。

4.進捗状況等の公表

『KOFU NEXT ACTION』の進捗状況等については、各年度終了後、随時甲府市ホームページにて公表してまいります。

5. SDGs の達成に向けた取組として

『KOFU NEXT ACTION』の各施策と SDGs における 17 のゴールとの関係性を明確にすることで、各施策の推進によって SDGs の達成に寄与してまいります。



KOFU NEXT ACTION 施策一覧及び目次

NEXT ACTION1 こども育むまち

1-1 きめ細かな相談・支援の体制づくり	4	1-2 安心できる居場所づくり	5
■ 子ども・青少年総合相談センターの開設		■ 児童生徒支援センターの開設	
■ 児童及び妊産婦等の包括的な支援の推進		■ 不登校総合対策の推進	
■ 子ども体験機会の創出		■ 子ども応援施設の整備	
■ 子育て負担の軽減		■ 保育環境の充実	
1-3 新時代の特色ある学びづくり	6	1-4 こうふ愛の醸成	7
■ ICTを効果的に活用した学力向上の推進		■ 未来に向けた人づくりの推進	
■ 通学区域の弾力化の推進		■ 「こうふ開府の日」記念事業の実施	
■ コミュニティ・スクールの推進			

NEXT ACTION2 輝き栄えるまち

2-1 まちなかの交流・賑わいの創出	8	2-2 四季折々の観光づくり	9
■ 小江戸甲府 城下町整備事業の推進		■ 御嶽昇仙峡や信玄の湯 湯村温泉の魅力の磨き上げ	
■ 遊亀公園・附属動物園の再整備		■ 自然と都市機能を活かした観光振興	
■ 新たなまちなか再生事業の推進		■ 広域観光の推進	
■ 中心市街地活性化対策			
2-3 輝きあふれる地場産業づくり	10	2-4 人・企業から選ばれるまちづくり	11
■ 地場産業の更なる活性化		■ 企業誘致対策の強化	
■ 宝石のまち甲府プロジェクトの推進		■ 雇用創出の推進	
■ 鳥獣被害防止対策の推進		■ 多様な人材の活躍支援	
■ 都市農業の活性化			

NEXT ACTION3 健康で安心して暮らせるまち

3-1 健康危機への迅速な対応	12	3-2 在宅医療・介護の体制づくり	12
■ 健康危機管理体制の強化		■ 在宅医療・介護連携の推進	
3-3 からだとこころの健康増進	13	3-4 動物と共に生きる社会づくり	13
■ からだの健康づくりの推進		■ 動物愛護事業の推進	
■ 緑が丘スポーツ公園の整備			
■ こころの健康づくりの推進			

NEXT ACTION4 グリーンで快適なまち

4-1 新たな価値を生み出すまちづくり	14	4-2 リニア駅周辺のまちづくり	14
■ 二つの拠点を核としたまちづくり		■ リニア駅周辺整備の推進	
4-3 ゼロカーボンシティの実現	15	4-4 暮らしやすい都市基盤の整備	16
■ ゼロカーボンの推進		■ 都市計画道路の整備	
■ 「こうふグリーンラボ」の開設		■ 空き家対策の推進	
		■ 新たな公共交通の導入	

NEXT ACTION5 持続可能なまち

5-1 SDGsとデジタル化の推進	17	5-2 災害に強いまちづくり	18
■ SDGsの推進		■ 地域防災力の強化	
■ 自治体DXの推進			
5-3 シティプロモーションの推進	18	5-4 「県央ネットやまなし」の発展	18
■ シティプロモーションの推進		■ 「やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン」の推進	

施策編

計画期間となる4年間を捉えた「施策」の概要を記載します。

NEXT ACTION 1

こども育むまち

施策の方向性

- 1-1 きめ細かな相談・支援の体制づくり
- 1-2 安心できる居場所づくり
- 1-3 新時代の特色ある学びづくり
- 1-4 こうふ愛の醸成

みんなで子どもを応援し、子どもの夢やこうふ愛が育まれるまちづくりに取り組みます。



1-1 きめ細かな相談・支援の体制づくり

一人ひとりに寄り添ったきめ細かな相談・支援による子育て支援の強化と、様々な体験を通じた子育て応援を充実します。

■ 子ども・青少年総合相談センターの開設

子ども・青少年に係る相談支援体制を強化するため、子ども・子育て相談機能と青少年相談機能とを一体化した「子ども・青少年総合相談センター おひさま・あおぞら」を令和5年度より設置し、青年期までの切れ目のない相談・支援を行うことにより、ヤングケアラーなど悩みや不安を抱える子どもたちの成長を応援していきます。

- 取組
- 子ども・青少年総合相談センターによる一体的な相談支援の充実
 - ヤングケアラーの社会的理解の促進
 - 庁内連携体制によるヤングケアラー支援
 - 配食支援事業等によるヤングケアラー支援

■ 児童及び妊産婦等の包括的な支援の推進

相談者などの利便性の向上と、より適切な支援を可能とするため、オンライン相談や健診等に関するWeb予約システムを令和5年度中に導入するとともに、令和6年度からは新たに心理的ケアの専門職によるアウトリーチ（訪問）支援や発達特性のある子どもとその保護者への支援のほか、母子保健と児童福祉に係るサービスの連携・強化に向けた体制の整備に取り組むなど、妊娠期から子育て期の家庭において心穏やかに育児ができるよう、きめ細かな支援を行い、育児不安の軽減を図ります。

- 取組
- オンライン相談の実施
 - Web予約システムの活用
 - 専門職によるアウトリーチ（訪問）支援の充実
 - 子育てに係る保護者への相談支援の充実
 - 母子保健と児童福祉の一体的支援

■ 子ども体験機会の創出

地域全体で子育てを応援する機運の醸成や、子育てに関する取組の更なるPRに努めるとともに、子育て応援者・子ども応援団体等と連携・協力する中で、スポーツ、文化・芸術など幅広い分野での体験機会を子どもたちに提供する場を創出し、次代を担う子どもたちの無限の可能性を引き出し、夢や希望を持って健やかにたくましく成長していけるよう後押しします。

- 取組
- 子ども応援フェスタの開催
 - 夏休み子ども体験教室の開催
 - 親子運動遊びイベントの開催
 - 子ども応援デリバリー事業の実施

概要	<p>■子育て負担の軽減</p> <p>産後ケア事業の一層利用しやすい環境を整えるため、宿泊型・日帰り型の産前産後ケアセンターの利用料と、助産師による訪問型のおうち d e ホットママケアの利用料の助成を令和5年度から拡大するとともに、核家族化の進行や共働き世帯の増加など、子どもたちを取り巻く環境が変化する中で、公立保育所において2歳児までとしていた児童の主食を含めた完全給食の提供を、令和5年度より、3歳児から5歳児まで拡充し、児童の食育の推進に加え、保育所に子どもを預ける子育て世帯の負担軽減を図ります。</p>
	<p>取組</p> <p>○産前産後ケアセンターの利用料の助成 ○おうち d e ホットママケア利用料の助成 ○公立保育所における主食の提供</p>



1-2 安心できる居場所づくり

不登校・いじめ対策の強化や保育環境の充実に取り組むなど、子どもが安心できる居場所づくりを進め、みんなの笑顔を育みます。

施策	<p>■ 児童生徒支援センターの開設</p> <p>概要</p> <p>不登校をはじめ、いじめや特別支援教育に係る児童生徒、保護者からの相談窓口を一元化した「児童生徒支援センター すてつぱ」を令和5年度から設置し、相談者の利便性の向上に加え、専門の担当者と関係機関との連携により、児童生徒に寄り添ったきめ細かな相談支援を円滑に実施します。</p>
	<p>取組</p> <p>○児童生徒支援センターにおける相談体制等の整備・充実 ○児童生徒支援センターの認知度の向上</p>
	<p>■ 不登校総合対策の推進</p> <p>概要</p> <p>令和5年度より、中学校2校を不登校対策推進校として指定し、「スクリーニングシート」などを活用した不登校の未然防止や早期対応に取り組むとともに、校内教育支援センターを設置し、不登校対策専門の教員を配置する中で、不登校傾向の生徒や教室に入れない生徒の居場所づくりに努めるなど、不登校の生徒一人ひとりに寄り添った支援を行います。</p>
	<p>取組</p> <p>○不登校対策推進校の指定・充実 ○学校内への教育支援センターの設置及び不登校対策専門の教員の配置 ○ICTを活用した不登校未然防止対策の推進</p>
概要	<p>■ 子ども応援施設の整備</p> <p>概要</p> <p>民間の様々なアイデアや意見を取り入れる中で、児童館や放課後児童クラブ等の子どもに係る機能を組み合わせ合わせた施設を整備し、健全な遊びの場や、子育て中の親が交流できる場を創出し、子どもの心身の育成と、豊かな情操を育みます。</p>
	<p>取組</p> <p>○子ども応援施設の整備</p>
	<p>■ 保育環境の充実</p> <p>概要</p> <p>令和5年度より、障がいのある子どもの受け入れ環境を充実するため、保育所等への補助制度を拡充するとともに、保育士の確保に向けた取組を強化し、令和6年度からは、保育ICTシステムの導入により、保護者の利便性の向上や保育士の業務負担の軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を増やすことで、保育の質の向上につなげます。また、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度の創設を見据えた試行的事業の実施など、保護者が安心して子どもを預けられる保育環境の創出に取り組めます。</p>
<p>取組</p> <p>○障がい児保育の補助制度の実施 ○保育士確保対策の充実 ○保育所のデジタル化の推進 ○こども誰でも通園制度の試行的事業の実施</p>	

1-3 新時代の特色ある学びづくり

I C Tを活用した学習支援の充実や地域の特性に合った学び環境の創出など、新時代の学びづくりを進めます。

施 策	■ I C Tを効果的に活用した学力向上の推進
	概要 一人ひとりに最適な出題を行うA I型ドリルに加え、令和5年度からの新たな学習支援ツールの導入や令和6年度からの先駆的な教育ビッグデータの利活用等により、I C Tの活用と従来の授業を組み合わせた教育を推進するとともに、教員のI C Tスキルや指導力を向上させることで、教育環境の高度化を図り、児童生徒の学習状況に応じた「個別最適な学び」や、クラスでアイデアを出し合うなどの「協働的な学び」により、甲府の子どもたちの学力向上に取り組めます。
	取組 ○学習支援ツール及び教育ビッグデータの利活用の促進 ○A I型ドリルの利用促進 ○教員のI C Tスキルの向上 ○リーディングD Xスクール事業への参加
	■ 通学区域の弾力化の推進
	概要 学校規模の適正化に向け、通学区域の弾力化や、小規模校の魅力ある学校づくりを推進し、子どもたちが多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばすことのできる教育環境を創出します。
	取組 ○学校規模適正化の更なる検討 ○魅力ある学校づくりの推進
施 策	■ コミュニティ・スクールの推進
	概要 令和5年度より、全ての市立小中学校をコミュニティ・スクールとし、学校や地域の課題を共有する中で、学校と地域が協力して学校運営に取り組む「地域とともに歩む学校づくり」を更に進め、学校を中心とした地域の活性化と、子どもたちの豊かな学びを実現します。
	取組 ○全小中学校における学校運営協議会の活動推進

1-4 こうふ愛の醸成

開府500年をきっかけとして大きく育った『こうふ愛』を一層醸成します。

	■ 未来に向けた人づくりの推進
概要	<p>こうふ開府500年で育まれた「こうふドリームキャンパス」と「私の地域・歴史探訪」、「甲府ラーニング・スピーチ」の3つのレガシー事業の推進に加え、「甲府市の歌」を学校やまちなか、イベント等で聴き・歌い・触れ合う機会の創出に取り組み、「ふるさと甲府」への誇りと愛着を更に育み、市民の一体感と未来に向けた人づくりにつなげます。</p>
取組	<p>○「こうふ開府500年レガシー事業」の推進 ○「甲府市の歌」の普及啓発</p>
	■ 「こうふ開府の日」記念事業の実施
概要	<p>甲府誕生の原点である12月20日の「こうふ開府の日」に向けて、「こうふ開府500年レガシー事業スペシャル版」と「こうふ開府の日」記念イベントを一体的に開催し、特別な記念日として市民みんなでお祝いし、更なるこうふ愛の醸成につなげます。</p>
取組	<p>○「こうふ開府の日」イベントの開催</p>

輝き栄えるまち

施策の方向性

- 2-1 まちなかの交流・賑わいの創出
- 2-2 四季折々の観光づくり
- 2-3 輝きあふれる地場産業づくり
- 2-4 人・企業から選ばれるまちづくり

多彩な地域資源の魅力を高め、人と地域が輝き栄えるまちづくりに取り組みます。

2-1 まちなかの交流・賑わいの創出



まちなかの拠点を着実に整備するとともに、まちなか未来ビジョンの策定や実行組織づくりなどを進め、新たな交流と賑わいを生み出します。

施策	■小江戸甲府 城下町整備事業の推進
	概要 甲府城と市内の各拠点をつなぐ新たな歴史・文化のランドマークとして、甲府城南側が賑わいの創出と回遊性の向上に資するエリアとなるよう、令和7年度の供用開始を目指して歴史文化交流施設や江戸風まちなみ散策路を整備し、本市が紡いできた重層的な歴史・文化を感じながら周遊・交流できるまちを次代につなぎます。
	取組 ○歴史文化交流施設の整備 ○江戸風まちなみ散策路の整備
	■遊亀公園・附属動物園の再整備
	概要 子どもたちが動物たちとふれあい、命の尊さを大人と一緒に学ぶことができ、動物本来の生態を観察できる、まちなかの動物園となるとともに、子どもたちが本市の自然や歴史を感じながら健やかに成長でき、幼児から高齢者までの多様な年代が利用できる公園となるよう、動物園と公園を一体的に再整備し、令和9年度早期の動物園リニューアルオープンに向け、次の世代に誇りを持って引き継ぐことができる賑わいの拠点づくりを進めます。
	取組 ○遊亀公園・附属動物園の再整備
策	■新たなまちなか再生事業の推進
	概要 活動意欲や機動力を持って挑戦するプレイヤーが参画する官民連携まちづくりの基盤組織である「甲府まちなかエリアプラットフォーム」を中心に、「まちなか未来ビジョン」の「ビジョン編」及び「アクション編」を令和6年度までに策定するとともに、多彩な地域資源や特性を活かしたまちなかの将来像の実現に向けた取組を、企画から実行まで一体的かつ実効性をもって進め、持続可能な新たな地域づくりにより、まちなかの再生を目指します。
	取組 ○プレイヤーとの共創体制の強化 ○まちなか未来ビジョンの策定・推進

■ 中心市街地活性化対策

概要

甲府城周辺と遊亀公園・附属動物園を結び、快適で高質な道路空間の整備に加え、まちなか再生の要の一つである岡島百貨店跡地の再開発への支援や商店街をはじめとする拠点の魅力と、まちなかの回遊性・滞留性の向上等に資する取組の展開により、中心市街地のエリア価値を高め、地域商店街の振興・中心市街地の活性化・まちなかの再生につなげていきます。

取組

- 岡島百貨店跡地の再開発への支援
- 春日本通り線の整備
- 新規出店機会の創出とまちなかの回遊性・滞留性の向上



2-2 四季折々の観光づくり

四季折々の豊かな自然と都市機能を活かし、甲府ならではの観光コンテンツをつくります。

■ 御嶽昇仙峡や信玄の湯 湯村温泉の魅力を磨き上げ

概要

日本遺産及び甲武信ユネスコエコパークに認定されている「御嶽昇仙峡」や、長い歴史を有する市内唯一の温泉郷「信玄の湯 湯村温泉」は、本市の主要な観光地であることから、民間事業者と連携した受入環境の整備に取り組み、誘客促進と観光消費の拡大につなげるよう、それぞれのエリアの磨き上げによる高付加価値化を進めます。

取組

- 観光地の高付加価値化の推進

■ 自然と都市機能を活かした観光振興

施策
概要

本市の強みである、四季折々の豊かな自然と都市機能が融合した、山のぼり・まち歩きの新なる推進に加え、令和6年度より、自然・歴史・文化を最大限活かしたスポーツ・アウトドアによる新たな観光コンテンツを造成する中で、自然とまちが織りなす都市観光を展開し、誘客の拡大につなげます。

取組

- スポーツ・アウトドアを活用した観光振興
- スポーツ・文化大会及び合宿等の開催に伴う誘客促進
- 山のぼり・まち歩きの促進
- 「金峰山古道復活プロジェクト」の推進

■ 広域観光の推進

概要

「県央ネットやまなし」を形成する市町とともに、行政区域に捉われない広域的な観光エリアを形成し、それぞれの地域が有する自然、歴史、文化、食などの豊富な観光資源を結び付け、より大きな魅力と訴求力を高めることにより、圏域全体の交流人口の増加と地域経済の活性化を目指します。

取組

- 広域的な観光プロモーションの展開
- 連携自治体ツーリズムの実施

2-3 輝きあふれる地場産業づくり

ジュエリーや印伝、ワインなど地場製品のブランド価値の向上と地場産業の活性化に取り組みます。

施策	<p>■ 地場産業の更なる活性化</p>	
	概要	<p>新たな産業施策の構築に向け、本市全般の産業構造や今後の市場予測の把握のための市場調査と分析を令和5年度に実施し、令和6年度に検討・構築を行い、令和7年度以降の具体的な取組の実施につなげていくとともに、地場産品ツーリズムの展開による新たな顧客を獲得するなど、「稼ぐ力の向上」を目指します。</p>
	取組	<p>○新たな産業施策の検討及び構築 ○ツーリズム等の実施による地場産品の認知度の向上</p>
	<p>■ 宝石のまち甲府プロジェクトの推進</p>	
	概要	<p>世界有数のジュエリーの集積産地である本市の強みを活かした新たなジュエリー文化を創造し、魅力が伝わるコンテンツを通じて発信するとともに、日本最大級のファッションフェスタでのPRや甲府ジュエリーの広告塔の起用に加えて、高校生などを対象としたジュエリーデザインコンクールを開催するなど、「甲府ジュエリー」のブランド化と「宝石のまち甲府」の認知度のなお一層の向上を図ります。</p>
	取組	<p>○「甲府ジュエリー」ブランディングの推進 ○「甲府ジュエリー」プロモーションの推進</p>
<p>■ 鳥獣被害防止対策の推進</p>		
概要	<p>北部地域に続いて、優良農地の保全と営農環境の改善を図りながら、持続可能な地域農業の実現に向け、中道南地区における鳥獣被害防止対策を含む農業生産基盤の整備を総合的に実施する土地改良事業を導入するため、令和6年度に土地改良事業推進協議会を発足し、令和7年度の事業着手を目指します。</p>	
取組	<p>○農業生産基盤の整備</p>	
<p>■ 都市農業の活性化</p>		
概要	<p>「農ある暮らし」に憧れを持つ市民や、甲府に移住した都市住民等を対象に、仕事を持ちながら農業に挑戦する「半農半X」というライフスタイルを支援するため、相談から栽培技術の指導や農業用機械の貸し出し、耕作地の紹介までを切れ目なく支援することにより、農業の多様な担い手の確保と、本市における新規就農者の開拓や、担い手の定着、農地の保全などにつなげ、都市農業の活性化を推進します。</p>	
取組	<p>○切れ目ない「半農半X」のサポート体制の充実</p>	

2-4 人・企業から選ばれるまちづくり

本市の強みや地方への関心の高まりを活かし、人・企業から選ばれるまちづくりを進めます。

施策	概要	<p>■ 企業誘致対策の強化</p> <p>リニア開業をはじめとする広域的な交通利便性や首都圏との近接性など、本市の立地優位性を活かした継続的な企業誘致活動に、「中小企業の成長・拡大」と「スタートアップ企業の誘致」に向けた新たな誘致活動を加え、企業誘致対策の強化を図る中で、特定機能補強地区を中心に民間開発を視野に入れた産業立地の促進に取り組みます。</p>
	取組	<p>○スタートアップ企業の誘致 ○中小企業の成長・拡大に向けたスタートアップ企業との連携</p>
	概要	<p>■ 雇用創出の推進</p> <p>少子高齢化による労働力人口の減少が進む中、行政エリアを越えた労働力の定着と事業者の継続性などを高めるため、県央ネット山梨の圏域自治体との連携によるオンライン合同企業説明会や対面での就職マッチング機会を創出し、地方移住に関心のある県外の学生や外国人などの雇用の促進による地域産業の活性化を図ります。</p>
	取組	<p>○地元企業と若者のマッチング機会の創出</p>
	概要	<p>■ 多様な人材の活躍支援</p> <p>女性が自分らしく活躍できる場の創出に向けた取組をはじめ、ジェンダー平等の実現に向けた啓発及び教育を推進するとともに、令和5年度から、留学生の地域活動への参画を促進するプラットフォームを構築し交流事業等を展開するなど、留学生の活躍を「地域の国際化」へとつなげ、市民の国際感覚の醸成を図ります。</p>
	取組	<p>○女性の活躍と交流等の場の創出 ○ジェンダー平等の実現に向けた啓発及び教育の推進</p> <p>○国際交流の推進</p>

NEXT ACTION 3

健康で安心して 暮らせるまち

施策の
方向性

- 3-1 健康危機への迅速な対応
- 3-2 在宅医療・介護の体制づくり
- 3-3 からだとこころの健康増進
- 3-4 動物と共に生きる社会づくり

ともに支え合い、自分らしく健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

3-1 健康危機への迅速な対応



保健所を中心に関係機関等との連携体制を強化し、健康危機への迅速な対応につなげます。

■ 健康危機管理体制の強化

概要 新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえ、様々な感染症危機に備えて保健所が「健康危機管理拠点」としての機能を発揮するため、令和5年度に策定した「甲府市感染症予防計画」及び「甲府市保健所健康危機対処計画（感染症編）」に基づき、更なる体制整備に取り組んでいくとともに、平時から市立甲府病院等の医療機関や関係団体との連携強化を図り、迅速に対応できる仕組みを構築します。

取組

- 感染症予防計画及び健康危機対処計画に基づく取組の推進
- 関係機関との連携強化

3-2 在宅医療・介護の体制づくり



高齢化の進展による在宅療養に係るニーズの増加や人口減少に伴う担い手不足を見据え、住み慣れた地域で、安心して暮らせるための在宅医療・介護の体制づくりを加速します。

■ 在宅医療・介護連携の推進

概要 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、令和5年に在宅療養後方支援病院となった市立甲府病院と市内医療・介護関係機関の連携強化による「甲府スタイル」の在宅医療・介護の体制づくりを推進するとともに、「県央ネットやまなし」の構成市町との協働による広域連携のメリットを活かし、ICTを活用した連携の促進や研修会による医療・介護従事者のスキルアップなどに取り組みます。

取組

- 切れ目のない提供体制構築に向けたネットワーク形成支援
- 医療・介護人材のスキルアップ・確保・定着支援
- 住民への普及啓発及び意思決定支援

3-3 からだところの健康増進

誰もが生きがいを持って豊かに暮らせるよう、市民と共に、からだところの健康増進を力強く進めます。

施策	■ からだの健康づくりの推進
	概要 健康都市宣言を行った本市の健康づくりを更に推進するため、令和5年度に導入した「こうふ健康アプリ」等の活用や、働き盛り世代の健康づくりへの支援など、地域や団体等と連携する中で、健康への関心が低い方など多くの市民の健康づくりを推進し、みんなが健康で、笑顔が絶えない「元気Cityこうふ」の実現を目指します。また、「がんとの共生」に向けた適切な支援を提供できるよう、必要な支援体制の整備に取り組みます。
	取組 ○アプリを活用した健康づくり支援 ○働き盛り世代の健康づくり支援 ○（仮称）甲府市の歌 体操の導入 ○生涯を通じた歯・口腔の健康づくりの推進 ○がんとの共生に向けた支援の充実
	■ 緑が丘スポーツ公園の整備
	概要 各種大会会場や競技スポーツの練習会場として、また、子どもから大人までが楽しみ利用できる公園を目指し、令和6年度までに、野球場・外周道路・テニスコートB等の整備を着実に推進するとともに、今後の整備に向けて検討を重ねるなど、市民の健康増進・体力づくりに寄与する生涯スポーツの拠点づくりに取り組みます。
	取組 ○緑が丘スポーツ公園の整備
■ こころの健康づくりの推進	
	概要 ひきこもりの当事者世帯を、社会全体で支援していく体制づくりに向け、ひきこもりに関する正しい知識を持った理解者を地域に増やすとともに、新たな相談機会として、対面での交流に抵抗のある方でも相談できる、インターネット上のメタバース（仮想空間）を用いた相談窓口を令和5年度に開設し、ひきこもりの方の、孤独感の解消と将来的な自立に向けて支援をします。
	取組 ○ひきこもりに関する理解促進のための研修会の実施 ○メタバースを活用したひきこもり支援

3-4 動物と共に生きる社会づくり

私たちの心に多くの潤いと安らぎをもたらしてくれる動物と人が共に生きる社会づくりに取り組みます。

施策	■ 動物愛護事業の推進
	概要 市民の動物愛護への理解促進やペットの適正飼養の指導をはじめ、譲渡会の開催や地域猫活動などの推進による「犬猫の殺処分ゼロ」を目指した取組を行うことで、人と動物が共に生きる社会づくりの実現を目指します。
	取組 ○動物愛護と適正飼養の推進

グリーンで快適なまち

施
策
の
方
向
性

- 4-1 新たな価値を生み出すまちづくり
- 4-2 リニア駅周辺のまちづくり
- 4-3 ゼロカーボンシティの実現
- 4-4 暮らしやすい都市基盤の整備

未来へつなぐ、環境にやさしいグリーンで快適なまちづくりに取り組みます。

4-1 新たな価値を生み出すまちづくり



リニア新時代に向け、甲府の個性と存在感を発揮するまちづくりを進めます。

施 策	概要	<p>■二つの拠点を核としたまちづくり</p> <p>甲府駅周辺とリニア駅周辺という個性の異なる二つの拠点を核とした「新たな価値を生み出すまちづくり」を推進し、リニア開業効果を最大限波及させるため、リニア駅周辺では、「近未来の産業・暮らしの社会実装」の視点や、甲府駅周辺との連携・補完の視点を取り入れたまちづくりを検討するとともに、甲府駅周辺では、プレイヤーとの共創により既存の魅力を高める「新たなまちなか再生事業」に着手し、まちなかエリアの魅力を最大化させる拠点づくりを先導します。</p>
	取組	○リニア新時代を見据えたまちづくりの推進

4-2 リニア駅周辺のまちづくり



リニア駅前の特別なポテンシャルを活かし、駅周辺をゼロカーボンの実現と新産業の育成に資する象徴的なエリアにします。

施 策	概要	<p>■リニア駅周辺整備の推進</p> <p>「近未来の産業、暮らしを社会実装するまち」、「誰もが目的地にシームレスに移動できるまち」、「平常時も災害時も活躍するフェーズフリーなまち」の実現に向け、リニア駅前のまちづくりを進める基本方針を策定するとともに、民間事業者や有識者等との意見交換を踏まえる中で、基本計画の作成に着手し、官民双方の強みを活かした適切な役割分担により、事業の実現性を高める中、特色あるまちづくりを進めリニア駅前の価値を最大化させます。</p>
	取組	○リニア駅周辺における官民連携のまちづくり

4-3 ゼロカーボンシティの実現

脱炭素の加速と再生可能エネルギーの促進など、『ゼロカーボンシティ』の実現を目指します。

施策	<p>■ゼロカーボンの推進</p> <p>2050年温室効果ガス排出量実質ゼロとなるゼロカーボンシティへの実現に向けて、「甲府市地球温暖化対策実行計画」に基づき、ゼロカーボン推進助成事業等のグリーンエネルギー普及の取組や、新たに、土壌に炭素を貯留し、大気中の二酸化炭素濃度を低減する4パーミル・イニシアチブの取組を推進するとともに、令和6年度からは公共施設への太陽光発電設備の設置を進め、温室効果ガスの排出量を削減します。</p>
	<p>取組</p> <p>○「甲府市地球温暖化対策実行計画」に基づく取組の推進 ○公共施設への太陽光発電設備の整備 ○4パーミル・イニシアチブの推進</p>
	<p>■「こうふグリーンラボ」の開設</p> <p>2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比マイナス46%を目指し、先導的かつ重点的に実施する取組の指針や重点施策をまとめた「甲府市ゼロカーボン戦略」に基づき、水素エネルギーの普及啓発や利活用について検討する中で、令和5年度に産学官連携によるコンソーシアムを立ち上げ、水素燃料電池電動アシスト自転車の実証事業を実施するとともに、ゼロカーボンを推進する拠点となる「こうふグリーンラボ」を設置し、市域全体の脱炭素を加速していきます。</p>
	<p>取組</p> <p>○環境教育及び水素エネルギー等の普及啓発 ○水素エネルギー等の再生可能エネルギーの利活用に向けた実証事業の実施</p>

4-4 暮らしやすい都市基盤の整備

快適で豊かな暮らしの実現に向け、効率的・効果的な都市基盤の整備を進めます。

■都市計画道路の整備

概要 国や県において整備が進められている幹線道路網との連携を図る中で、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、城東三丁目敷島線の伊勢工区は令和9年度、住吉四丁目善光寺線の善光寺工区及び高畑町昇仙峡線の池田工区は令和10年度の整備完了を目指して事業を推進し、甲府圏域における効果的で効率的な道路ネットワークを構築します。

取組 ○城東三丁目敷島線（伊勢工区Ⅰ期）の整備 ○住吉四丁目善光寺線（善光寺工区Ⅰ期）の整備
○高畑町昇仙峡線（池田工区Ⅰ期）の整備

■空き家対策の推進

概要 増加を続けている空き家への対策が全国的な課題となる中、特定空き家等の解消強化などあわせ、令和5年度から空き家バンク制度の対象地域を市域全体に拡充するなど、適切な管理及び利活用の促進に向けた必要な施策を総合的かつ計画的に推進し、空き家を活用した定住、交流人口の増加などの付加価値を創出することによる、地域の活力向上につなげます。

取組 ○甲府市空き家バンク制度の活用促進 ○管理が行き届いていない空き家への対応強化

■新たな公共交通の導入

概要 将来的に公共交通空白地域の拡大が懸念される中、買い物や通院の際の移動に不安を感じている高齢者に対し、公共交通のセーフティネットとしての移動手段を確保するため、令和5年度から「デマンド型乗合タクシー」の実証運行等の新たな公共交通の導入に向けた取組を実施し、日常生活を安心して営むことのできる公共交通体系を構築します。

取組 ○デマンド型乗合タクシーの実証運行

NEXT ACTION 5

持続可能なまち

施策の方向性

- 5-1 SDGsとデジタル化の推進
- 5-2 災害に強いまちづくり
- 5-3 シティプロモーションの推進
- 5-4 「県央ネットやまなし」の発展

連携・協働・交流による、持続可能なまちづくりに取り組みます。

5-1 SDGsとデジタル化の推進



市民生活や社会基盤の維持のために、SDGsの推進やデジタル技術を活用し、効率的な行政運営を推進します。

■ SDGsの推進

概要 SDGsの理念や考え方について、市域全体の理解が深まるよう、更なる普及啓発や情報発信、パートナー登録制度の更なる充実と努めるとともに、多様な主体との連携を通じて様々な地域課題の解決につながる、経済・社会・環境の3つの側面からの新たな取組を展開し、持続可能な未来都市の実現に取り組みます。

施策

- 取組
- SDGs達成に向けた普及啓発の推進
 - SDGs推進パートナー登録制度の充実と連携の強化
 - SDGs未来都市計画の策定・推進

■ 自治体DXの推進

概要 デジタル技術を活用した行政手続きの更なる簡素・効率化を進めるとともに、DX人材の育成に努めるなど、デジタル化による便利で効率的な行政サービスを展開するため、自治体DXを推進します。

- 取組
- 行政手続きのオンライン化の推進
 - 対話型AIの活用に係る取組の推進
 - DX人材の確保・育成
 - AI-OCR/RPA等の活用による事務効率化

5-2 災害に強いまちづくり

近年、自然災害が激甚化・頻発化している中、自治会等との連携強化を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

施策	概要	<p>■地域防災力の強化</p> <p>地域防災を担う防災リーダーの育成やフォローアップ研修に加え、水害避難の地区研修会の充実を図るため、効果的な検証が可能な指定避難所で研修会を開催し、令和6年度以降、検証結果を基に地区指定避難所における実効性の高い新たな研修会を実施します。また、令和5年度にリニューアルした防災アプリの普及啓発と外国人の防災意識の醸成にも取り組むなど、市民一人ひとりの防災に関するスキルアップや連携強化を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p>
	取組	<p>○甲府市防災リーダーの育成・強化 ○水害避難の地区研修会の強化</p> <p>○「甲府市防災アプリ」の普及啓発</p>

5-3 シティプロモーションの推進

戦略的なプロモーションにより、本市の多彩な魅力を輝かせた甲府のブランド力を高めます。

施策	概要	<p>■シティプロモーションの推進</p> <p>市政情報等の魅力を市内外の方々にも知ってもらうため、本市の春夏秋冬を捉えたこうふ歳時記プロモーションやデジタル漫画を活用したローカルプロモーション、SNSを中心としたWebプロモーションに加えて、甲府大使等による魅力発信、民間企業等とのコラボレーションによるコミュニティプロモーションなど、市民向け・国内等に向けた「3つのターゲット別プロモーション」を実施し、甲府ファンを創出します。</p>
	取組	<p>○「こうふFANクリエイション」プロジェクトの展開・構築</p>

5-4 「県央ネットやまなし」の発展

やまなし県央連携中枢都市圏（愛称：「県央ネットやまなし」）を形成する自治体と共に、相互の強みを活かした事業を展開し、課題解決に取り組めます。

施策	概要	<p>■「やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン」の推進</p> <p>甲府市・韮崎市・南アルプス市・甲斐市・笛吹市・北杜市・山梨市・甲州市・中央市・昭和町の9市1町で構成する「県央ネットやまなし」において、「やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、連携によるメリットを広く波及させる様々な分野の取組を推進し、圏域の発展と持続可能なまちづくりを進めます。</p>
	取組	<p>○圏域自治体との連携事業の推進</p>

取組編

各施策を構成する「取組」ごとの当年度の具体的な取組を記載します。

R6年度 ACTION

NEXT ACTION 1 こども育むまち

1-1 きめ細かな相談・支援の体制づくり

■ 子ども・青少年総合相談センターの開設

○ 子ども・青少年総合相談センターによる一体的な相談支援の充実

- ・子ども・青少年総合相談センター「おひさま・あおぞら」での妊娠期から青年期まで切れ目のない一体的な相談支援の実施
- ・見守りや寄り添い、具体的な支援につなぐ役割を担う、「ヤングケアラー・コーディネーター」によるアウトリーチ支援の実施

○ ヤングケアラーの社会的理解の促進

- ・関係機関職員やヤングケアラーに関心のある地域住民等に向けた専門講師による研修会の開催
- ・ヤングケアラーやその家族と接することが想定される関係機関等との連携強化

○ 庁内連携体制によるヤングケアラー支援

- ・ヤングケアラー支援庁内連携会議による効果的な支援策の検討

○ 配食支援事業等によるヤングケアラー支援

- ・ヤングケアラーの早期把握やレスパイトケアにつながる配食支援事業の実施
- ・個別ケース会議での検討を基に福祉サービス導入につなげるなど支援コーディネートの実施

■ 児童及び妊産婦等の包括的な支援の推進

○ オンライン相談の実施

- ・妊娠期から子育て期を対象としたオンライン相談の実施

○ Web予約システムの活用

- ・乳幼児健診等の予約や変更をスマートフォンなどから行えるWeb予約システムの活用

○ 専門職によるアウトリーチ（訪問）支援の充実

- ・マイ保健師と助産師等の専門職の連携による各種アウトリーチ支援の実施
- ・公認心理師又は臨床心理士によるアウトリーチ支援を実施

○ 子育てに係る保護者への相談支援の充実

- ・「ママのすこやか相談」の対象を父親まで拡大した「ペアレント相談」の実施
- ・発達特性のある子どもたちの療育体験の場と保護者が子どもへの関わり方を学ぶ場を兼ねた「親子はぐくみクラス」の実施

○ 母子保健と児童福祉の一体的支援

- ・「こども家庭センター」の設置に伴う一体的で切れ目のない支援の実施及び支援体制の強化

■ 子ども体験機会の創出

○ 子ども応援フェスタの開催

- ・子どもたちに文化・芸術等に触れる機会を創出する「子ども応援フェスタ（アートであそぼ!）」の開催
- ・子どもたちが将来の夢や希望を思い描ける多彩な体験プログラムを集めた「子ども応援フェスタ（お城であそぼ!）」の開催

○ 夏休み子ども体験教室の開催

- ・スポーツや夏休みの宿題にもつながる「夏休み子ども体験教室」の開催

○親子運動遊びイベントの開催

- ・親子で楽しみながら運動遊びの重要性を知ってもらう「親子運動遊びイベント」の開催

○子ども応援デリバリー事業の実施

- ・子ども応援団体等との連携・協働による子どもの体験機会を創出する「子ども応援デリバリー事業」の実施

■子育て負担の軽減

○産前産後ケアセンターの利用料の助成

- ・母体や育児のケア等を受けることができる宿泊型・日帰り型の産前産後ケアセンターの利用料助成の実施

○おうちd e ホットママケア利用料の助成

- ・助産師がご自宅に伺いケアする訪問型の産後ケア事業「おうちd e ホットママケア」の利用料助成の実施

○公立保育所における主食の提供

- ・炊き立ての白米やバラエティ豊かな主食メニューの提供
- ・より満足度の高い主食はもとより、栄養価にも配慮した副食やおやつなど、給食検討会における新たなメニューの検討

1-2 安心できる居場所づくり

■児童生徒支援センターの開設

○児童生徒支援センターにおける相談体制等の整備・充実

- ・「不登校」「いじめ」「特別支援教育」に関する相談窓口の一元化によるきめ細かな相談支援の実施
- ・スタッフ間の情報共有や関係部署等との連携による適切な相談支援の実施

○児童生徒支援センターの認知度の向上

- ・児童生徒支援センターの活用事例や解決につながった好事例等を掲載したチラシの作成
- ・学校を通じた市内小中学校に通う子を持つ全家庭へのチラシの配付

■不登校総合対策の推進

○不登校対策推進校の指定・充実

- ・「スクリーニングシート」等を活用した不登校になる可能性がある生徒の早期発見・早期対応
- ・不登校生徒や保護者の意向に沿った支援の実施

○学校内への教育支援センターの設置及び不登校対策専門の教員の配置

- ・教室に入れない生徒の居場所となる校内教育支援センター「ほっとルーム」の拡充
- ・不登校対策専門の教員の配置による生徒一人ひとりに寄り添った支援の実施

○ICTを活用した不登校未然防止対策の推進

- ・1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見

■子ども応援施設の整備

○子ども応援施設の整備

- ・子ども、子育てに係る施設の設置に向けた、民間事業者等への個別サウンディング調査の実施
- ・子ども、子育てに係る施設に求める、より具体的な機能や設備、運営要件等の検討

■ 保育環境の充実

○障がい児保育の補助制度の実施

- ・保育士の加配等による障がい児に対する処遇の向上
- ・市内の教育・保育施設における質の高いインクルーシブ保育の提供

○保育士確保対策の充実

- ・保育施設等の特色アピールやマッチング支援

○保育所のデジタル化の推進

- ・保育 I C Tシステムを導入する子ども園等への補助金の交付
- ・公立保育所への保育 I C Tシステム導入による保育士の業務効率化及び保護者の利便性向上

○こども誰でも通園制度の試行的事業の実施

- ・実施希望のあった施設における試行的事業の実施
- ・事業者、利用者へのアンケート

1-3 新時代の特徴ある学びづくり

■ I C Tを効果的に活用した学力向上の推進

○学習支援ツール及び教育ビッグデータの利活用の促進

- ・個別最適な学びや、協働的な学びにつながる様々な学習支援ツール及び教育ビッグデータの更なる利活用の促進
- ・学習状況を可視化できる「こつふマイボード」を活用した効果的な学習支援の展開
- ・授業や集会等における 1 人 1 台端末のチャット及びメール機能の活用促進

○A I型ドリルの利用促進

- ・一人ひとりに最適な出題を行う A I 型ドリルの更なる利用促進

○教員の I C Tスキルの向上

- ・教員を対象とした国の学校 D X 戦略アドバイザーによる研修等の実施
- ・教員の I C Tスキルや指導力向上のための、I C T 推進専門員 2 名による学校訪問支援

○リーディング D X スクール事業への参加

- ・「リーディング D X スクール事業（石田小・南西中）」による、全国の I C T 活用好事例等の調査・研究

■ 通学区域の弾力化の推進

○学校規模適正化の更なる検討

- ・湯田小へのニーズを踏まえた児童受入増加に向けた検討
- ・新たに弾力化の導入が必要な地区（学校）の調査・研究

○魅力ある学校づくりの推進

- ・「こつふドリームキャンパス」をはじめ、外部講師を積極的に活用した特別授業の実施
- ・学生ボランティアを活用したきめ細かな授業や自然豊かな環境を活かした体験学習などの実施
- ・様々な取組についての市ホームページや S N S などの媒体を通じたタイムリーな情報発信

■ コミュニティ・スクールの推進

○全小中学校における学校運営協議会の活動推進

- ・学校運営協議会の進捗状況、成果、課題等を共有するコミュニティ・スクール連絡協議会の開催
- ・学校から学校運営協議会への、学校運営に係る基本方針等の説明
- ・学校運営協議会による活動の好事例の情報共有及び取組の推進

1-4 こうふ愛の醸成

■ 未来に向けた人づくりの推進

○「こうふ開府500年レガシー事業」の推進

- ・「こうふドリームキャンパス」と「私の地域・歴史探訪」、「甲府ラーニング・スピーチ」の通年実施

○「甲府市の歌」の普及啓発

- ・歌う、聴く機会の創出に向けた小・中学校への協力依頼
- ・こうふ開府の日に「防災行政用無線」で音源を変更した曲を放送
- ・歌詞入りポスター等の配布
- ・甲府大使等とみんなで歌うプロモーション動画の作成

■「こうふ開府の日」記念事業の実施

○「こうふ開府の日」イベントの開催

- ・レガシー事業スペシャル版などと連動した一体的な「こうふ開府の日」イベントの開催
- ・甲府にちなんだ食材を使った「こうふ開府の日お楽しみ給食」の提供
- ・広報こうふへの遊びながら甲府に関する知識を深められるクイズ等の掲載
- ・中心市街地の店舗・事業者と連携・協働した取組の展開

2-1 まちなかの交流・賑わいの創出

■ 小江戸甲府 城下町整備事業の推進

○ 歴史文化交流施設の整備

- ・施設整備工事の実施
- ・開業に向けた施設ホームページの構築
- ・甲府城南側エリアの街並みのイメージを発信していくプロモーションの展開
- ・管理運営（指定管理）の検討

○ 江戸風まちなみ散策路の整備

- ・石張り舗装工事などの実施

■ 遊亀公園・附属動物園の再整備

○ 遊亀公園・附属動物園の再整備

- ・「猛獣舎」及び「ビーバー舎」等の整備工事の実施
- ・サウンディング型市場調査の実施
- ・「休園中の動物園で動物に会おう」や「出張ふれあい動物園」などのイベントの開催
- ・動物用医療機器の充実

■ 新たなまちなか再生事業の推進

○ プレイヤーとの共創体制の強化

- ・エリアプラットフォームの運営

○ まちなか未来ビジョンの策定・推進

- ・リーディングプロジェクトの試行・検証
- ・まちなか未来ビジョン（アクション編）の策定

■ 中心市街地活性化対策

○ 岡島百貨店跡地の再開発への支援

- ・事業効果の最大化に資する取組への支援
- ・再開発を活かしたエリア価値を高める取組の検討

○ 春日本通り線の整備

- ・地元商店街との協力体制の強化
- ・第2期工事の実施

○ 新規出店機会の創出とまちなかの回遊性・滞留性の向上

- ・チャレンジサポート事業による出店機会の創出
- ・市民参加型ワークショップによる旧岡島百貨店周辺の賑わいの創出
- ・公共空間を活用したまちなかの回遊性・滞留性の向上
- ・子育て世帯をはじめ、より多くの方を中心市街地へと誘因する店舗マップの作成

2-2 四季折々の観光づくり

■ 御嶽昇仙峡や信玄の湯 湯村温泉の魅力の磨き上げ

○ 観光地の高付加価値化の推進

- ・「日本遺産 御嶽昇仙峡」の地域資源の磨き上げによる観光振興
- ・「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援

■ 自然と都市機能を活かした観光振興

○ スポーツ・アウトドアを活用した観光振興

- ・スポーツ・アウトドアアクティビティを活用した観光施策の検討
- ・昇仙峡エリアの地域資源を活かしたアクティビティと自転車を掛け合わせたサイクルツアーの実施

○ スポーツ・文化大会及び合宿等の開催に伴う誘客促進

- ・各種大会や合宿、学会等の開催に伴う市内宿泊施設の利用に対する補助支援

○ 山のぼり・まち歩き促進

- ・「山のぼり・まち歩き」キャンペーンの開催
- ・「やまなし県央クリーンハイカー」の認定

○ 「金峰山古道復活プロジェクト」の推進

- ・金峰山に至る御嶽古道へと続く林道、駐車場及びトイレの整備

■ 広域観光の推進

○ 広域的な観光プロモーションの展開

- ・圏域の特色を活かした広域的な観光プロモーションの展開

○ 連携自治体ツーリズムの実施

- ・観光資源を結び付けた観光コンテンツ造成等による誘客促進及び消費拡大

2-3 輝きあふれる地場産業づくり

■ 地場産業の更なる活性化

○ 新たな産業施策の検討及び構築

- ・宝飾産業における、業態に応じた効果的な施策の立案
- ・その他の牽引産業における、より大きな成長と波及効果を生み出す具体的な施策の立案

○ ツーリズム等の実施による地場産品の認知度の向上

- ・ワインバスを活用した地場産品ツーリズムの実施
- ・甲府空中市（ソライチ）を活用した地場産品などを扱う事業者の出店
- ・「こうふはっこうマルシェ」の開催に合わせた店舗を持たない方等への出店機会の創出

■ 宝石のまち甲府プロジェクトの推進

○ 「甲府ジュエリー」ブランディングの推進

- ・「マイナビ東京ガールズコレクション」にて、「甲府ジュエリー」の文化と魅力を発信
- ・「甲府ジュエリーアンバサダー」への著名人の起用
- ・「甲府ジュエリーインフルエンサー」制度の推進
- ・県内の高校生によるジュエリーデザインコンクール「ジュエリー甲子園」を開催

○ 「甲府ジュエリー」プロモーションの推進

- ・「ベビー」「プロポーズ」「ヘリテージ」などの人生の節目に合わせた新たなジュエリー文化を様々な媒体により発信
- ・市内事業者とのコラボレーションによるブライダル関連の販路開拓支援

■ 鳥獣被害防止対策の推進

○ 農業生産基盤の整備

- ・事業計画の策定及び国庫補助事業採択申請手続き
- ・土地改良事業を円滑に推進していくための推進協議会の発足

■ 都市農業の活性化

○ 切れ目ない「半農半X」のサポート体制の充実

- ・「半農半X」応援相談窓口における「半農半X」の実践に係わる人の様々な相談への対応
- ・農業未経験者をサポートするための農産物の栽培指導や農業機械の操作研修の実施
- ・扱いやすい小型の機械やアグリテックを活用した農業用機械の貸し出しの実施
- ・農業未経験者が栽培指導を受けながら農業を実体験できる「半農半Xチャレンジ農園」の開設

2-4 人・企業から選ばれるまちづくり

■ 企業誘致対策の強化

○ スタートアップ企業の誘致

- ・東京都が運営するスタートアップ支援施設等との連携による企業情報等の収集
- ・中小企業とのマッチングに向けたスタートアップ企業の抽出
- ・スタートアップ企業と中小企業とのマッチングによる事業連携体制の構築

○ 中小企業の成長・拡大に向けたスタートアップ企業との連携

- ・企業課題抽出に向けた調査の実施
- ・スタートアップ企業とのマッチングに向けた中小企業の抽出
- ・中小企業とスタートアップ企業とのマッチングによる事業連携体制の構築
- ・中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントの開催

■ 雇用創出の推進

○ 地元企業と若者のマッチング機会の創出

- ・圏域企業と若者が交流できるメタバースを活用した就活支援事業の実施
- ・連携中枢都市圏合同による対面での就職マッチング機会の創出

■ 多様な人材の活躍支援

○ 女性の活躍と交流等の場の創出

- ・女性が自分らしく活躍できる場の創出に向けた取組の推進
- ・女性起業等支援セミナーの実施
- ・こふう女性達で創るマルシェの開催及びチャレンジする場の提供

○ ジェンダー平等の実現に向けた啓発及び教育の推進

- ・ジェンダー平等の実現に向けた啓発を推進するための講演会の開催
- ・ジェンダー平等の実現に向けた教育を推進するための若年層を対象とした性に関する講座の開催

○ 国際交流の推進

- ・市内大学との連絡会の開催
- ・留学生のニーズ・生活課題の把握
- ・留学生の地域活動への参画を促進する留学生プラットフォームの運用

3-1 健康危機への迅速な対応

■ 健康危機管理体制の強化

○ 感染症予防計画及び健康危機対処計画に基づく取組の推進

- ・感染症予防計画等に基づく保健所の体制の確保及び人材の養成
- ・甲府市感染症対策連携会議における感染症予防計画に基づく取組状況の報告及び意見交換

○ 関係機関との連携強化

- ・甲府市感染症対策連携会議における情報共有及び意見交換による関係機関等との連携の推進
- ・感染症を想定した災害対応訓練の実施による関係機関等との連携の推進

3-2 在宅医療・介護の体制づくり

■ 在宅医療・介護連携の推進

○ 切れ目のない提供体制構築に向けたネットワーク形成支援

- ・市立甲府病院を含む病院、診療所等で構成するワーキンググループの開催による24時間対応できる連携体制等の充実
- ・病院と地域の医療介護関係者の切れ目のない連携に向けた研修会等の開催
- ・県央ネットやまなしの医療介護の情報基盤として整備した医療介護情報検索システムの活用促進
- ・市立甲府病院の周辺医療機関への訪問による、在宅療養後方支援病院としての機能の浸透

○ 医療・介護人材のスキルアップ・確保・定着支援

- ・新たに在宅医療に取り組もうとする医師に向けた研修会等の開催
- ・在宅療養の動画配信による、在宅医療・介護の仕事の魅力発信
- ・県央ネットやまなしにおける在宅医療・介護連携に関する基礎的内容及びスキルアップのための研修会の開催
- ・県央ネットやまなしにおける身寄りのない高齢者の支援に係る医療・介護現場における事例集の活用・周知

○ 住民への普及啓発及び意思決定支援

- ・医療・介護専門職の魅力などを伝える動画等を活用した在宅療養の普及啓発
- ・A C P（人生会議）の普及啓発ツール「わたしの想いノート」の活用による将来に向けた本人の意思決定支援

3-3 からだとこころの健康増進

■ からだの健康づくりの推進

○ アプリを活用した健康づくり支援

- ・マイナポータル連携による健診結果の見える化及び健康ポイントなどの機能を有する「こうふ健康アプリ」の利用促進

○ 働き盛り世代の健康づくり支援

- ・ヘルスケア関連企業の持つ専門的・魅力的な健康づくりコンテンツの提供
- ・職場ぐるみで競争しながら楽しく健康づくりに参加できる「(仮称)事業所対抗 大運動会」の開催

○ (仮称) 甲府市の歌 体操の導入

- ・日常生活の中で体を動かす習慣づくりを目的とした甲府市の歌に合わせた体操の作成及び周知

○生涯を通じた歯・口腔の健康づくりの推進

- ・糖尿病患者等にターゲットを絞った歯科健診の受診勧奨通知の送付
- ・受診勧奨通知対象者の健診実施後のデータに基づく今後の課題等の整理
- ・ナッジやソーシャルマーケティングの手法を活用した、受診行動につながるチラシの作成及び配布
- ・甲府市歯科医師会等と連携した歯科健診の受診勧奨

○がんとの共生に向けた支援の充実

- ・がん治療による外見の変化を補完する補整具への補助（がん患者アピアランスケア支援事業）の実施・周知
- ・医療機関、職域保健及びがん患者関係団体等とアピアランスケアに関する相互連携体制の構築
- ・市民に対するがんに関する情報提供・相談支援対応の実施

■緑が丘スポーツ公園の整備

○緑が丘スポーツ公園の整備

- ・「テニスコートB」及び「駐車場」の整備工事の実施
- ・次期整備に向けた取組の推進

■こころの健康づくりの推進

○ひきこもりに関する理解促進のための研修会の実施

- ・地域包括支援センター職員やケアマネジャー等、地域で活動している団体等への研修会の実施

○メタバースを活用したひきこもり支援

- ・当事者を対象とした個別相談の実施
- ・当事者や家族を対象とした交流会の実施
- ・メタバース空間を活用したひきこもりに関わる支援情報の掲載

3-4 動物と共に生きる社会づくり

■動物愛護事業の推進

○動物愛護と適正飼養の推進

- ・猫の不妊・去勢手術への補助
- ・猫用超音波忌避装置の貸出及び譲渡ボランティアへの支援
- ・地域猫活動の周知啓発及び動物愛護週間におけるイベント開催
- ・譲渡会の開催
- ・飼い主のいない猫に対するトイレ設置費用への補助

4-1 新たな価値を生み出すまちづくり

■二つの拠点を核としたまちづくり

○リニア新時代を見据えたまちづくりの推進

- ・二つの拠点（甲府駅周辺、リニア駅周辺）の連携・補完を実現する効果的な施策の調査研究
- ・まちづくり基本計画検討委員会（4-2参照）や民間事業者ヒアリング等の場での意見聴取
- ・まちなか未来ビジョン（アクション編）の策定

4-2 リニア駅周辺のまちづくり

■リニア駅周辺整備の推進

○リニア駅周辺における官民連携のまちづくり

- ・リニア駅南側エリアにおける基盤整備方針の策定
- ・有識者等で構成される「まちづくり基本計画検討委員会」による意見聴取
- ・まちづくりに参画意欲のある民間事業者へのヒアリング調査の継続的な実施

4-3 ゼロカーボンシティの実現

■ゼロカーボンの推進

○「甲府市地球温暖化対策実行計画」に基づく取組の推進

- ・電気自動車や家庭用蓄電池等の購入を対象とした助成の実施等によるグリーンエネルギーの普及促進
- ・脱プラスチックへの普及啓発イベントの開催

○公共施設への太陽光発電設備の整備

- ・公共施設への太陽光発電設備等の導入に向けた調査・検討

○4パーミル・イニシアチブの推進

- ・農業者に対する4パーミル・イニシアチブの取組のPRによる無煙炭化器等の利用促進

■「こうふグリーンラボ」の開設

○環境教育及び水素エネルギー等の普及啓発

- ・各世代に応じた環境教育の実施
- ・こうふグリーンラボにおける普及啓発機能の充実
- ・水素普及啓発イベントの実施

○水素エネルギー等の再生可能エネルギーの利活用に向けた実証事業の実施

- ・水素燃料電池電動アシスト自転車の実証事業への協力
- ・水素ドローンの製作を通じた水素リテラシーの向上と人材育成
- ・水素バーナー及び水素コンロの実証事業
- ・ヤマトダマの栽培によるバイオマスエネルギー実証事業

4-4 暮らしやすい都市基盤の整備

■ 都市計画道路の整備

○ 城東三丁目敷島線（伊勢工区Ⅰ期）の整備

- ・事業用地の取得

○ 住吉四丁目善光寺線（善光寺工区Ⅰ期）の整備

- ・建物等の補償算定に係る業務の実施
- ・事業用地の取得

○ 高畑町昇仙峡線（池田工区Ⅰ期）の整備

- ・用地測量及び建物等の補償算定に係る業務の実施
- ・事業用地の取得

■ 空き家対策の推進

○ 甲府市空き家バンク制度の活用促進

- ・新たな助成制度の活用に係る周知啓発

○ 管理が行き届いていない空き家への対応強化

- ・管理不全空家等の該当判断及び指導などの実施

■ 新たな公共交通の導入

○ デマンド型乗合タクシーの実証運行

- ・デマンド型乗合タクシー実証運行の実施
- ・実証運行の結果を基にした分析検証及び次年度の方向性決定

5-1 SDGsとデジタル化の推進

■ SDGsの推進

○ SDGs達成に向けた普及啓発の推進

- ・パートナー登録企業等のSDGsの取組を学生が取材し、レポート集として作成・発信
- ・学生のアイデアにより構築する楽しみながら学べる普及啓発ツールを活かした多様な世代への啓発活動
- ・登録パートナー等の専門性を活かした講座や各種普及啓発事業の実施

○ SDGs推進パートナー登録制度の充実と連携の強化

- ・登録パートナーの取組の見える化を推進し、市域におけるSDGsの輪を拡大
- ・多様な主体との連携の強化等による新たな事業展開につなげるための交流会等の開催

○ SDGs未来都市計画の策定・推進

- ・SDGs未来都市計画を策定し、計画に位置付けた取組を推進

■ 自治体DXの推進

○ 行政手続きのオンライン化の推進

- ・マイナポータルを活用したシームレスなオンライン申請の着実な運用と対象手続の拡充検討
- ・住民情報システム標準化・共通化に係わる20業務の現状把握と、市民サービス等への影響分析の実施
- ・道路台帳及び道路占用業務のデジタル化によるオンライン閲覧・申請システムの構築

○ 対話型AIの活用に係る取組の推進

- ・AIチャットボットの活用事例等の調査研究
- ・対話型AIを活用した先進技術の導入

○ DX人材の確保・育成

- ・「（仮称）DX人材育成方針」の策定
- ・自治体DX推進に向けた人材育成のための職員研修の開催

○ AI-OCR/RPA等の活用による事務効率化

- ・新規3業務へのAI-OCR/RPAの導入
- ・令和5年度に導入した3業務の効果検証
- ・導入拡大に向けた体制整備

5-2 災害に強いまちづくり

■ 地域防災力の強化

○ 甲府市防災リーダーの育成・強化

- ・避難所運営訓練、資機材取扱い訓練、講演会などのフォローアップ研修会の実施
- ・甲府市防災リーダー研修会の開催（前期、後期及び女性のための防災研修会2回）

○ 水害避難の地区研修会の強化

- ・これまでの研修会を踏まえた新たな研修内容の検討及び地区指定避難所における研修会の実施

○ 「甲府市防災アプリ」の普及啓発

- ・発信する各種災害関連情報の整理及び各種研修会・訓練等における防災アプリの普及啓発
- ・デジタル・マイ・タイムラインの多言語化による防災アプリ機能の充実

5-3 シティプロモーションの推進

■ シティプロモーションの推進

○ 「こうふFANクリエイション」プロジェクトの展開・構築

- ・こうふ歳時記プロモーションの実施
- ・デジタル漫画のアウトラインの検討
- ・SNS魅力発信グループの構築に向けたコンセプト及び運営方法の検討
- ・民間活力を活かしたプロモーション強化の検討

5-4 「県央ネットやまなし」の発展

■ 「やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン」の推進

○ 圏域自治体との連携事業の推進

- ・自治体間の連携によるスケールメリットを活かした効率的・効果的な連携事業の形成・実施
- ・取組を圏域に広く浸透させる一体的なプロモーションの推進
- ・各自治体との協議やビジョン懇談会における意見を踏まえた「やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン」の見直し